



太宰治賞の最終選考会場「みたか井心亭」にて

太宰治賞受賞者 サクラ・ヒロさん 寄稿文

『タンゴ・イン・ザ・ダーク』で第33回太宰治賞を受賞したサクラ・ヒロさん(写真)が、6月16日に行われた太宰治朗読会に合わせ、三鷹を訪れた時のエピソードを寄稿してくださいました。

「この土地の人は、この川を、人喰い川と呼んで、恐怖している」

太宰治の『乞食学生』という小説に、そんな一節がある。激流として知られた、玉川上水のことだ。しかし、同じ作品の中で、こどもも書いてある。『頭を挙げて見ると、玉川上水は深くゆるゆると流れて……』

だいたい、印象が違う。どっちが正解なのか。などと問うのは、野暮だろう。優しさと、計り知れない怖さを併せ持っている。それが玉川上水であり、太宰だった。

太宰はよく、玉川上水のほとりを散歩したそうだ。

「二番好きな場所で、人生を締めくくりにたかったのかもしれない」
一緒に歩きながら教えてくれたのは、みたか観光ガイド協会の小谷野さん。今年の太宰治賞をいただいたご縁で、太宰ゆかりの地を案内してもらったのだ。桜桃忌まで、あと三日。にわか雨が上がり、風はさわやかだ。

「人喰い川にしては、穏やかな流れですね」と聞けば、「先の東京オリンピックのとき、浄水場が移設されたのを機に、導水路としての役割を終えたんです」とのこと。なるほど今は、可憐な清流である。緑の茂った木々の隙間からのぞき込むと、小さな魚が泳いでいるの見える。薄暗い水際に、紫陽花がひっそりと青い。太宰は、真夜中の川べりの道を、山崎富栄としばしば歩き、それから入水したという。暗闇の中で、二人は何を語ったのだろうか。人喰い川と呼ばれた昔を思い浮かべ

ながら、水面を見つめる。姿は変えたが、この川は生きています。過去と今とが、二重写しになる。太宰の気持ち、わがかりそう、……少し、怖くなる。

この街には、太宰の気配が、あちこちに漂っている。太宰一家が利用したという伊勢元酒店今は、太宰治文学サロンとして、ファンが集う場となっている。山崎富栄と共に暮らした家(ここで胸を病み、咯血(かつつけつ)したという)。小説を書くために、転々としたという仕事場の跡落ち着かない人だったのだ。でも、物書きのはしくれとして、気持ちはわかる。そして、「みたか井心亭」の百日紅。太宰邸の庭から移植されたもので、樹齢は五十年を優に超える。こんなに立派な百日紅は、見たことがない。官能的、といったいほどになめらかな樹皮は、濡れたように淡い光を帯びる。それでいて、幹はどっしりと太く、いかにもしぶとい。ああ、ここにも、太宰。毎年、夏には燃えるような花がたくさん咲くという。壮観だろう。

夜、「太宰を聴く」と題した朗読会にお邪魔した。三鷹市芸術文化センターは、クラシックから落語まで、幅広いジャンルの芸術家に愛される、優れた文化施設だ。朗読者は、リリー・フランキー氏。さすが名優。淡々としているのに、色っぽくて、またたく間に引き込まれる。目の前に、太宰がよみがえったかのよう。いや、少し違うか。太宰は、我々の中にいる。芸術と自然と歴史を尊重、三鷹というこの街で、そしてここに暮らす人々の心の中で、今も生き続けているのだ。

三鷹産業プラザ まるごと夏まつり2017

主 株まちづくり三鷹 所 三鷹産業プラザ 申 特に記載のないものは当日会場へ
問 同社 ☎40-9669 ・ ✉ marunatsu-office@mitaka.ne.jp ・ HP http://matika2.mall.mitaka.ne.jp/

7月29日(土)午前11時～午後5時 わくわくキッズデー

幼児・小学生向けの工作や、ものづくり体験が楽しめます。また、夏の星座のお話や星空体験が楽しめるプラネタリアムのほか、軽食やパン、スイーツも販売します。

◆エアドーム型プラネタリアム—夏の星空と三鷹発宇宙の旅のお話

¥高校生以上100円

◆AMラジオを作ろう! (要申込)

☎午後1時30分～3時30分

人 小学4～6年生20人(保護者見学可)

申 必要事項(11面参照)・学校名を同社 ✉ marunatsu-info@mitaka.ne.jpへ(先着制)

◆ファブスペースみたか 「ものづくりワークショップ」(両日開催)

・ひのきの「季粋(きわく)」×レジンでオリジナルバッジを作ろう ¥600円

◆シニアSOHO普及サロン・三鷹「お名前シール・名刺作り」(両日開催)

¥10円

◆おもちゃの病院(両日開催)

☎午前11時～午後4時(30日(日)は午後2時まで)

¥特殊部品などの交換は実費

◆オリジナル望遠鏡を作ろう! (別会場ですのでご注意ください)

所 天文・科学情報スペース(下連雀3-28-20三鷹中央ビル1階) ¥100円



プラネタリアム



AMラジオを作ろう!

7月30日(日)午前11時～午後4時 のびのびベビーデー

お子さんの成長記録を残せるワークショップや、ハンドメイド雑貨、ベビーグッズの販売など、親子で楽しめる催しが盛りだくさんです。

◆ワークショップ、ハンドメイド雑貨やベビーグッズの販売など (協力: withbaby)

◆ベビーマッサージ(当日事前予約)、育児相談、体験・展示コーナーなど (協力: 三鷹市助産師会)



三鷹まるごと絵本市

10月7日(土)～22日(日)開催

市内で実施する絵本のイベント企画を大募集

一緒に絵本市をつくってしまおう!

主 みたか・子どもと絵本プロジェクト連絡会 問 星と森と絵本の家 ☎39-3401

三鷹まるごと絵本市は、街の中で絵本と出会い、絵本を通して人と人とのコミュニケーションを楽しむイベントです。5回目の開催となる今年は、開催エリアを三鷹駅前から市内全域に拡大。広くみなさんから絵本を楽しむイベント企画を募集し、「みんなで作り上げる絵本市」を目指します。

「絵本の魅力をいろんな人に伝えたい」「お店で絵本にちなんだ商品を検討している」とお考えのみなさん、絵本のいろいろな楽しみ方を提案し、企画を実現してみませんか。

人 期間中、絵本に関連したイベントを市内で企画・運営できる方
※個人・法人は問いません。イベント経費の助成も予定しています(上限あり)。
申 8月14日(月)までに必要事項(11面参照)・企画内容を同施設 FAX 39-3402 ・ ✉ ehonnoie@city.mitaka.tokyo.jpへ(助成は選考のうえ決定)

◆イベント企画の相談会を開催します
☎ 7月30日(日)午後1時～3時 所 三鷹駅前コミュニティセンター
申 7月28日(金)までに星と森と絵本の家 ✉ ehonnoie@city.mitaka.tokyo.jpへ

街の中で絵本が読める「絵本スポット」の参加店も募集中
人 店頭で絵本と椅子を用意し、誰でも絵本が読めるスペースを提供できる店舗
※絵本(椅子)は1冊(1脚)から。期間中の管理は各店舗でお願いします。
申 8月14日(月)までに店舗概要を星と森と絵本の家 FAX 39-3402 ・ ✉ ehonnoie@city.mitaka.tokyo.jpへ